（様式３－１） 研究研修活動記録票（研究会、研修会開催又は参加に要する経費）

嬉野市議会議員　　芦塚　典子

開催月日	平成30年5月11日（金）
開催時間	10：00～12：30
開催場所	TKP東京駅八重洲カンファレンスセンター
主催者	地方議員研究会
研修会等の名称	インフラ老朽化問題 理論編
講師等の氏名等	東洋大学教授　根本祐二
内容・結果等	（1）公共施設の標準モデル ①広域化　②ソフト化（民営化、地域移管）　③集約化　④共有化　⑤多機能化 ①広域化　公立病院、大型ホール、総合運動施設、廃棄物処理施設、図書館 ②ソフト化　軽々に民間ではやらないと議会や行政が決めつけてはいけない サウンディングする必要がある　ef.バウチャー制度対象学習機関が開催する 講座・講習会、介護ローソン（民間施設：居宅介護支援事業所窓口） （市民移管：埼玉県宮代町集会所自治会移転） ③集約化　学校、集会施設、公営住宅　ef.富山市立芝園小中学校PFI 徳島県営住宅集約化（集約、高層化、津波避難ビル） ④共有化　図書館、体育館、調理室、音楽室、図工室（法律上の規定はない） 山口県下関市立豊北中学校（学校施設を地域開放） 埼玉県宮代町議会（議場と集会所を共有化、多機能化施設） ⑤多機能化　市川市立第7中学校・給食室・公会堂整備等並びに保育所PFI事業 横浜市消防局青葉消防署青葉台出張所（消防出張所、自転車駐車場 消防職員宿舎、認可保育所、地域子育て支援拠点、保育所園庭） （2）土木インフラマネジメント 歩道橋の間引き　公共下水道計画縮小＋合併浄化槽への切り替え 青森県橋梁長寿命化修繕計画、府中市けやき並木通り周辺地区道路等包括管理業務委託、長野県下条村生活道路舗装事業は地元で整備、道守（市民自らが橋や道路の点検を実施する。任意団体として各地に拡大。任意資格認定制度あり （3）ポイント　日本の公共事業の歴史は1970年代が第一のピラミッド整備され現在のインフラを維持するためには、2020年代以降に第2のピラミッドといえる財源が必要となる。しかし当自治体においても、今後20年から40年後には200億円から600億円といえる膨大な財源が必要になる。少子高齢化の急速な進展の中で、社会保障も減らさず、今まで通りにインフラを維持するのは不可能である。人口減少を前提として、行動計画を策定し、予測可能な政策を展開すべきである。

上記活動に要した経費	経費の内容	支払先	金額（円）
	会費		15,000
	旅費		23,107
	宿泊費		6,600
	合計		44,707